

新幹線全線開業の 3つの大きな効果

● 時間短縮効果

博多から熊本まで35分、新大阪から
も3時間以内で結ばれます。

■ 現行（新八代～鹿児島中央）



■ 全線開業（260km/hの場合）



● 地域間交流の拡大

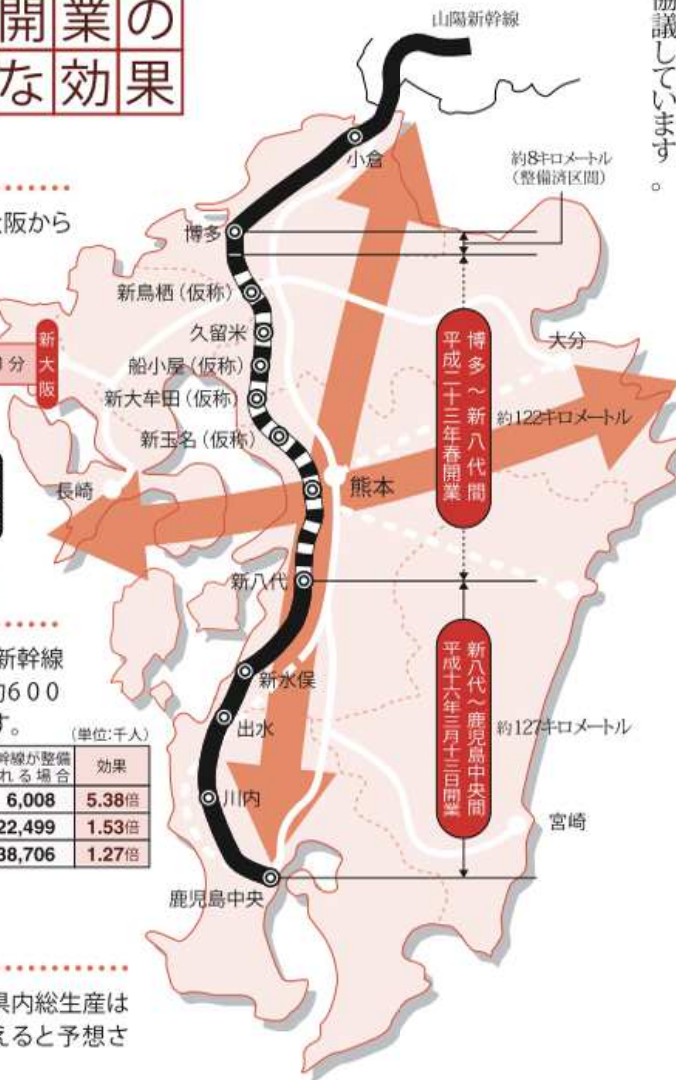
福岡などとの交流可能人口が新幹線
が整備される前の5倍以上の約600
万人に増えると予想されています。

交流可能人口	（単位：千人）		効果
	新幹線が整備 されない場合	新幹線が整備 される場合	
日常行動圏（片道1時間以内）	1,116	6,008	5.38倍
日帰り圏（片道3時間以内）	14,744	22,499	1.53倍
1日移動圏（片道5時間以内）	30,379	38,706	1.27倍

※九州新幹線建設促進期成会調べ

● 経済波及効果

新幹線が全線開業した場合、県内総生産は
開業10年目で1,700億円増えると予想さ
れています。



五年後に迫った九州新幹線鹿児島ルート
の全線開業効果が県内全域に広がるよう
、「新幹線くまもと創りプロジェクト推進本部」
では、四つの基本戦略を立て、民間と行政とのパートナーシップのもと、具体的な
取り組みの準備を進めています。
また、県内十二地域に設置された「地域推進本部」でも、地域ごとの特性を生かした戦略を
協議しています。

特集

新幹線くまもと創り

平成二十三年春九州新幹線鹿児島ルート全線開業

「未来に続く県土づくりのために」

4つの基本戦略・主なプロジェクト

九州の広域交通・情報網の拠点づくり

- 新幹線、道路、空路、航路を結ぶ縦軸・横軸の交通網の整備
- 新幹線新駅から阿蘇・天草および九州内の主要都市への交通アクセス・ダイヤなどの総合調整
- 阿蘇・人吉球磨地域などへの観光列車の運行
- 交通、観光、物産などの総合的な情報の発信 など

多彩な交流の舞台の誕生

- 熊本市内を流れる坪井川のリバークルーズや船を活用した天草観光など、新たな観光素材の掘り起こし
- アジアを見据えた4カ国語（日・英・韓・中）表示の徹底
- 歴史、文学、芸術をテーマにした観光ルートづくり
- おもてなし研修の実施や観光ボランティアガイドの育成による「熊本の満足度」の向上 など

元気で個性的な産業の創出

- 安全安心「くまもとの食・水」の確立のための戦略会議の設置
- 熊本の農山漁村に息づく伝統文化や食文化が体験できる「熊本型ツーリズム」の確立
- 熊本城の築城400年祭など、地域の祭りとの連携による個性的な商店街づくり
- 国の機関や民間オフィスなどの立地促進による拠点性の向上 など

誰もが住みたくなる熊本の実現

- 新幹線による通勤・通学を視野に入れた駅周辺地域の住環境の整備による定住促進
- 新幹線新駅と駅周辺地域が一体となったまちづくり（県産品市場、文化・コンベンションなど広域交流拠点）
- 熊本駅周辺の都市空間デザインの統一
- 県民運動として、心のUD（ユニバーサルデザイン）・こみ持ち帰り運動などの展開 など

